

# 児童自立援助ホームAzul

## 令和2年度事業実施報告書

### 1. 施設の概要

#### (1) 施設の概要

- ① 施設種別 児童自立生活援助事業
- ② 所在地 〒533-0012  
大阪府大阪市東淀川区大道南一丁目12番地24号
- ③ 設置・経営主体 社会福祉法人太陽社会福祉事業協会
- ④ 定員 入所6名
- ⑤ 現員 入所0名、一時保護4名（令和3年3月31日現在）

### 2. 施設運営基本方針

#### (1) 運営方針

家族、家庭に恵まれず、児童福祉施設で生活してきた者も多く自尊感情を持たずにいることから、まずは自分自身を大切に思えるような支援を第一に考え、職員の温かい和の中で安心して生活できる心地よい空間をつくり、自立に向けて気力と希望が育つように支援する。

#### (2) 就労支援

1年間を通しての入所者は4名。全員高校生。アルバイトをしているものは2名いたが、アルバイトが継続できない、又はコロナ禍による緊急事態宣言によりアルバイトの時間が減ったことにより生活費が賸えない状態であった。なおアルバイトをしていない者のうち1名は入院又は就労意欲減退により前年度末に退職している。

#### (3) 教 育

1年間を通しての入所者は4名。単位制高校（1名）、定時制高校（2名）全日制高校（1名）に在籍していた。なお、定時制高校2名はいずれも途中退学した。このうち1名は高卒認定試験を合格することで大学への進学を志しており、1名は就労自立となった。一時保護委託児童は3名、うち1名は全日制高校（2名）、通信生高校（1名）に在籍しており、それぞれ将来の目標があり、勉学に励んでいる。

### 3. 生活支援

#### (1) 目 的

入所児童については、自立に向けて一人暮らしができるように規則正しい日常生活と就労の継続ができるよう支援を行う。

#### (2) 行 事

### ① 誕生会

令和2年度に誕生日を迎えたのは本入所児童の3名、一時保護児童2名であった。誕生日には本人の希望する食事会を催し、本入所者には1人1万円以内、一時保護児童には3000円以内で本人が希望する品物のプレゼントを行った。

### ② サプライズデイ

月に1回を目安に利用者のリクエストに応じてレクリエーションとして、いきたいところに連れて行くことを目標としていたが、令和2年度はコロナ禍により見合わせ、日々の食事を少し豪華にすることで気分の転換をはかった。ただ、コロナ禍が1年に及んだことによるストレスが筑西されていたので、その発散のため3月に下記行事を行った。

月日	内容	場所	参加者
③ ク 3月18日 リ	バーベキュー	淀川河川敷	利用者 5名 職員 2名
③ ク 3月29日 リ	花見	大阪城公園（移動手段：自転車）	利用者 5名 職員 1名

### ③ クリスマス会

利用者は皆アルバイトがあったので皆が一同に集まってお祝いすることはできず、個々に食事をする形となった。プレゼントは一人5,000円/人とし、自分の好きなものを購入してもらった。

### ④ その他行事

月日	行事	内容	参加者
5月5日	子供の日	柏餅、しょうぶ湯、食事	利用者 4名 職員 1名
5月19日	お誕生日会	食事会	利用者 4名 職員 1名
6月15日	入学祝い	食事会	利用者 3名 職員 2名
6月20日	お誕生日会	食事会	利用者 3名 職員 2名
7月18日	土用の丑の日	うな井	利用者 3名 職員 1名
9月13日	お誕生日会	食事会	利用者 2名 職員 3名

12月4日	お誕生日会	食事会、ケーキ	利用者 4名 職員 4名
12月21日	お誕生日会	食事会、ケーキ	利用者 5名 職員 1名
12月24日	クリスマス会	食事会、ケーキ	利用者 4名 職員 1名
12月31日	年越し	年越しそば	利用者 3名 職員 1名
1月1日	お正月	お節料理	利用者 4名 職員 1名
2月3日	節分	豆まき	利用者 4名 職員 1名
2月14日	バレンタインデー	チョコレート	利用者 5名

### (3) 金銭管理

日常の金銭について、入所当初は施設管理とするが、日常生活の様子をみながら順次、本人管理とした。また、毎月本人と職員が相談しながら自立に向けて貯金をするようにした。その貯金については施設で管理をしている。

### (4) 医療

医療費については、一時保護児童は実施機関が発行する受診券にて無料となるが本入所者は自己負担となる。なお、本入所者で精神科受診が必要な者は自立支援医療の適用を受けている、

### (5) 食事

朝食は個々の登校又は出勤時間に合わせて提供し休日は8時としているが遅くまで起きてこないことが多かった。昼食については学校があるときは昼食代として600円を支給し、バイトや学校が休みで施設にいるときには施設から提供している。夕食は栄養バランスを考えて月曜日から金曜日は宅配食材を利用し、土・日は利用者の希望する食事を提供し温かみのある食事作りを心がけた。

(令和元年度提供栄養量及び施設内基準)

平均年齢 18 歳・1 人 1 日の夕食分

	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (mg)
平均提供量	1281	29	63	150
基準量	1100	32	36.7	160

(6) 生活態度

本入所児童、一時保護児童とも、大きな問題を起こすことなく過ごしている。

(7) 退所時支援

退所者1名に退所後の生活に必要な電化製品等の購入資金として3万円/人の支給を行った。

4. アフターケア

(1) 基本方針

施設を退所した児童に対して、生活に問題が起こったときには相談を持ちかけてくることができるように、日常的に連絡をとりコミュニケーションを図る。

5. 寄 附

(1) オリックス球団

アドバンスチケット 1冊 (30枚+特典2枚)

(2) 大阪市こども青少年局

ハンドクリーンジェル 12本 (1本195ml)

サージカルマスク 6箱 (1箱50枚入り)

(3) GAP ジャパン

衣類等 97点

(4) Tiktok

新型コロナウイルス緊急支援助成金 10万円

(新型コロナウイルスの影響により困難が状況にある入居者及び退去者への支援助成金)

6. 助成金

(1) 公益財団法人 JKA (競輪とオートレースの補助事業)

福祉車両助成金 127.5万円

購入車両: TOYOTA シエンタ 7人乗り

使用用途: 青少年の経験値をサポートし、情操教育を図る目的で野外活動、地域の社会活動、コミュニケーションを図る場への参加に活用する。

## 7. 補助金

### (1) 大阪市こども青少年局

新型コロナウイルス感染症拡大防止事業補助金 127.6万円

補助金の対象：マスク、手指消毒液、防護服、空気清浄機、パソコン等の購入  
アコーディオンカーテンの設置、職員慰労金

## 8. 職員研修

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を考慮して、外部研修への参加を見合わせた。

## 9. 安全管理

### (1) 防災訓練

実施月日	訓練内容	参加者数
4月12日	備蓄物品の搬出訓練	職員 4名
7月3日	火災時の対応	職員 4名
9月13日	火災時の対応	職員 4名
10月29日	不審者の侵入を防ぐための対応	職員 4名

### (2) 個人情報保護

個人情報保護法の適用遵守義務を受け個人情報データ、ケース記録等の管理は鍵付き書庫で特定の職員が行い、徹底した。

## 10. 苦情解決

### (1) 基本方針

施設利用者がその苦情を公に且つ組織的に対応し、苦情内容の適切な解決に努める。

### (2) 令和2年度状況

特に苦情はなしであった。